

## 京大ウィークス 2017 に今年度も参加します

京都大学防災研究所斜面災害研究センターでは、京大ウィークス 2017 において、当センターの徳島地すべり観測所を公開し、同所でおこなわれている最先端地すべり研究を実際のフィールドを歩きながら紹介します。四国の風土に密接に関連した地すべりの実態、及びわが国を代表する活断層である中央構造線（観測所の近くを通っている）を見学します。

日時・場所： 平成 29 年 10 月 7 日（土） 徳島地すべり観測所およびその周辺部

9:00 徳島地すべり観測所集合、15:00 解散

（移動にはこちらで用意するマイクロバスを使用します）

参加費： 無料

定員： 30 名（定員になり次第、締め切ります）

対象： 小学生以上。野外活動が主なので、軽いハイキングが可能な方。

服装・持ち物： 軽いハイキングに適した格好・昼食・雨具

その他： 阿波池田駅から送迎バスを出します（阿波池田駅 8:45 発）。

観測所には駐車スペースがありませんのでご注意ください。

**申し込み** 9 月 1 日（金）より開始します。下記のいずれかの方法で、担当（王）まで、参加者の氏名・年齢・性別・連絡先（電話番号・メールアドレス等）・住所・生年月日（保険申し込みのため）・阿波池田駅からの送迎バス利用の有無をお知らせください。

メール wanggh\*landslide.dpri.kyoto-u.ac.jp（\*を@に変えてください）

電話 0774-38-4111、 Fax: 0774-38-4300

<見学ポイントの紹介>

- ・ 西井川地すべり（観測所から約 5 km）

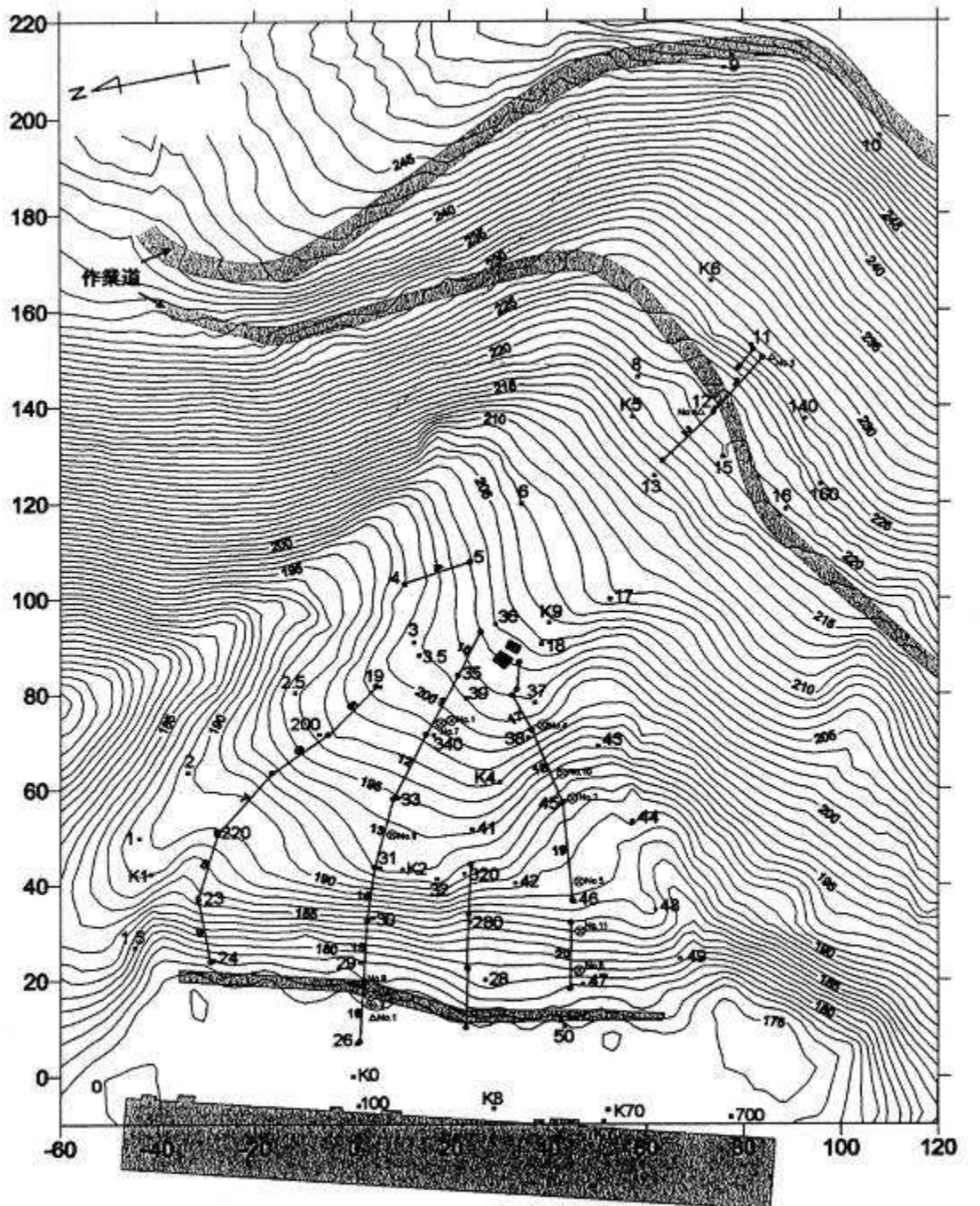
西日本を代表する結晶片岩の地すべりである西井川地すべりにおいて、斜面災害研究センターではさまざまな機器を配置し、地すべりの運動やそのメカニズムを計測、研究しています（図 1）。京大ウィークスでは、地すべり地の中を実際に歩き、地すべりによる地形を観察しながら、地すべり地内に設置された機器について、どのような目的で何の計測をしているかを紹介します。

- ・ 中央構造線の露頭

阿波池田にはわが国を代表する活断層である中央構造線が通っています。京大ウィークスでは道路工事の際に現れた断層露頭のような様子（図 2）を見学します。

◎ 徳島地すべり観測所とは・・・

観測所が位置する阿波池田は、四国山地の玄関口にあたり、西日本を代表する結晶片岩の地すべりや崩壊を研究するには、最適の場所です。1970 年代初頭から、徳島地すべり観測所を前線基地として、様々な観測研究が実施されてきました。最近では、地震と地すべりの関係についての研究も盛んに行われています。この度、初めて一般公開します。ぜひお越し下さい。



西井川地すべり地周辺地形図  
(2002年3月トータルステーション測量による)

- ⊙ Internal strain meter
- △ Tiltmeter
- ┃ Extensometer
- ・ 地すべり挙動観測点

図1：西井川地すべり地の地形図と観測概要



図 2 : 中央構造線の断層露頭。